

オーナ・マリア・ジャッジは、生まれたときからジョージ・ワシントン、マーサ・ワシントン夫妻の奴隷だった。だが、所有者夫妻に夕食を出すことはまずなかった。一日のうちにその時間だけは、静かに夫妻の近くにひかえている必要はなかった。食事に関しては、キッチンスタッフがすべて仕切っていたので、オーナはたいいてい二階か外か、キッチンの奥で、休みなしの奴隷の暮らしから解放され、自分の時間を楽しむことができた。

一七九六年五月二十一日土曜日、すべてが変わる。オーナはフィラデルフィアの大統領官邸の廊下から食堂をのぞき、夫妻を交互に見る。ふたりは大好きな塩漬の魚を食べ、大好きなワインを飲みながら、なにか話し合っている。話の中身は聞き取れない。今だ。今しかない。オーナには心に決めていたことがある。あとは決行する勇気があるかないかだ。逃亡するんだ。

オーナは深く息を吸いこむ。見えない力に追いついて立てられるように、官邸の裏手に向かって廊下を進む。ひと足ごとに決意はかたくなる。進め、オーナ。進むんだ。

オーナは裏口に着く。やはり奴隷の立場のシェフ、ハーキュリーズはオーナに軽くうなず

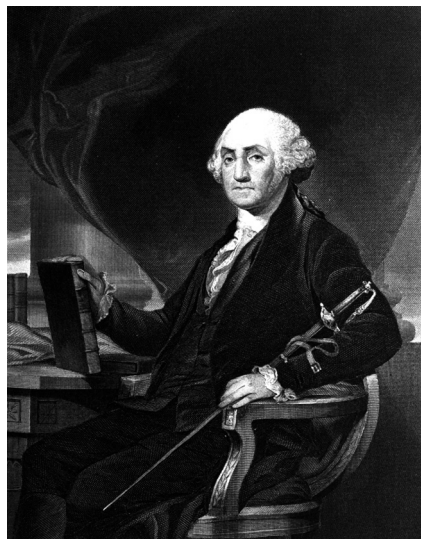
いたかもしれない。シェフはオーナの決意を察していたか。いや、なにも知らなかったかもしれない。オーナは歩き続ける。息づかいが荒いが、迷いはない。ドアを開けて外に出るんだ。めざすは船着き場だ。止まるんじゃない！

もし、捕まったら……もし捕まったら……

いや、そんなことは考えてはいけない。とにかく、今は。

オーナはまた歩き始める。いや、走ったか？ うしろを振り返った？ しかも面をしながら？ それとも、笑みを浮かべていた？ だれにもわからない。防犯カメラが登場するのは何百年もあとのことだ。オーナの心にあるのは、自分は命の危険を冒している、一刻も早くデラウェア川の岸につくられたいばん近い船着き場に着かなければ、ということだけだ。オーナは視線を落とし、かつてないほどドキドキしながら五ブロック歩き続け、ようやく、どこか遠くへ行くナンシー号という船に乗りこんだ。

行き先はわからない。オーナは生まれたときから、ワシントン夫妻と暮らしてきた。でも、今はひとり、デッキの手すりに寄りかかり、顔をかすめていく風を感じている。ナンシー号の白人船長と、逃亡を助けてくれた自由黒人の友人たちを信じるばかりだ。捕まれば、むちで打たれ、死ぬまで奴隷でいなければならない。そう思うと恐ろしくて、炎で首をしめつけ



ジョージ・ワシントン (1732-1799) アメリカの革命戦争を戦ったのち、1789年に初代大統領に就任。1797年3月まで2期大統領を務める。



マーサ・ダンドリッジ・カスティス・ワシントン (1731-1802) 最初の夫ダニエル・パーク・カスティスの死後、ジョージ・ワシントンと再婚。

られるような気がする。
だが、大西洋の荒波^{あらなみ}を見つめるオーナ・マリア・ジャッジ^{じょせい}—勇敢^{ゆうかん}にも、すべての奴隷^{どれい}の先^{せん}駆者^{くしゃ}となった若い女性^{わかじょせい}—の心は、なによりも燃えるような熱い思いで満たされていた。
わたしは自由だ。

Negroes. 711							
Belonging to George Washington in the down light.							
and by marriage of							
G.W.				Dover			
Names	Age	Remarks		Names	Age	Remarks	
Tradesmen. do.				Tradesmen. do.			
Math. Smith		His wife Lucy R.R. do.		Tom Lewis 26 ^{yo}		Wife at M ^{rs} Leas	
George 2 ^o		John 19 ^{yo} R.R. do.		Samuel 2 ^o Exp.		2 ^o Sophia - Leas's	
Isaac Exp.		Matty living do.		Grove 2 ^o Beth.		2 ^o Lucy R.R. - G.W.	
James 5 ^o	40	Barney M.H. CW		Melrose 15 ^{yo}	15	no wife	
Sambo 2 ^o		Agnes 2 ^o M. W.		Godfrey 15 ^{yo}		Wife - Mine M.H. do.	
Barry 2 ^o		Edy 14 ^{yo} CW		James 2 ^o		2 ^o - Ma. 2 ^o 2 ^o	
Joe 2 ^o		Widely 14 ^{yo} do.		Hanson 2 ^o Dist.		no wife	
Tom Exp.		Harry M.H. CW		Peter 2 ^o		15 ^{yo}	
Moses 2 ^o		no wife		Nat 2 ^o		15 ^{yo}	
Lucas 2 ^o		15 ^{yo}		Daniel 2 ^o		15 ^{yo}	
George 2 ^o		His wife 14 ^{yo} 2 ^o do.		Thomas 2 ^o		15 ^{yo}	
Harry 2 ^o		no wife		Chas. 2 ^o 15 ^{yo}		Wife Lydia B.R. - G.W.	
Bartholomew 15 ^{yo}		His wife Martha 14 ^{yo} CW		Arny 2 ^o 14 ^{yo}		2 ^o - Mary M.H.	
Lucas 2 ^o		His wife 14 ^{yo} do.		Marcus 2 ^o		no wife	
John 2 ^o		2 ^o 14 ^{yo} do.		1 2 ^o		15 ^{yo}	

約を結んでいた。だが、奴隷とちがつて、年季奉公人には少しの自由が与えられていた。ベティとアンドリユーは、結婚はしていなかった。黒人が白人と結婚することはできなかったし、そもそも奴隷の結婚は法律で認められていなかった。

ベティはのちにワシントン大統領夫人となるマーサの最初の夫、ダニエル・パーク・カステイスの所有物だったが、カステイスはマーサと結婚して七年でこの世を去った。奴隷制は当時のアメリカに深く根づいていた。カステイス家同様、マーサの実家も、マーサの再婚先であるワシントン家も、奴隷を所有していた。ダニエルの死後、遺産はマーサとふたりの子どもたちに三分割

オーナはいつどのようになされたのだろうか。

12